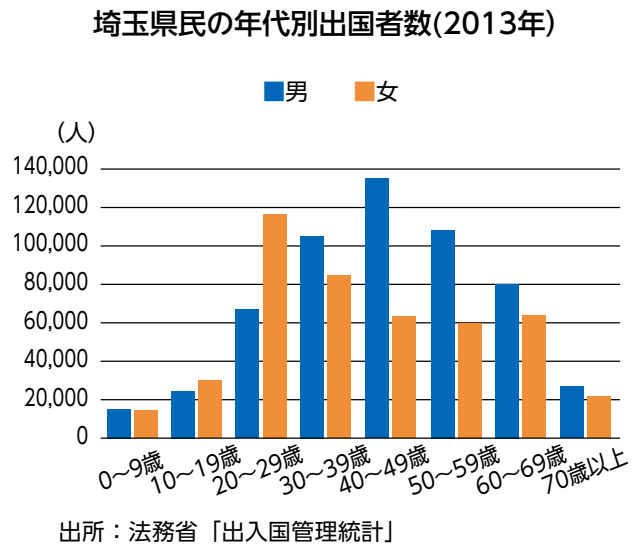
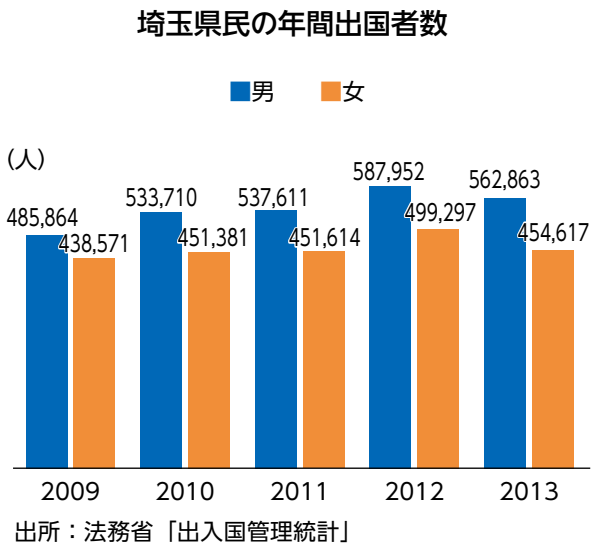
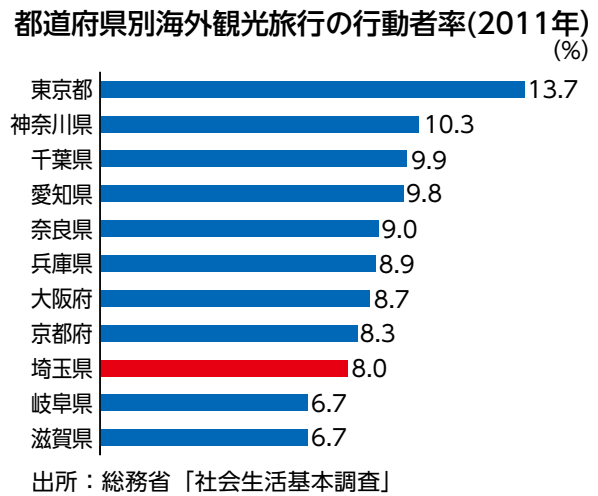
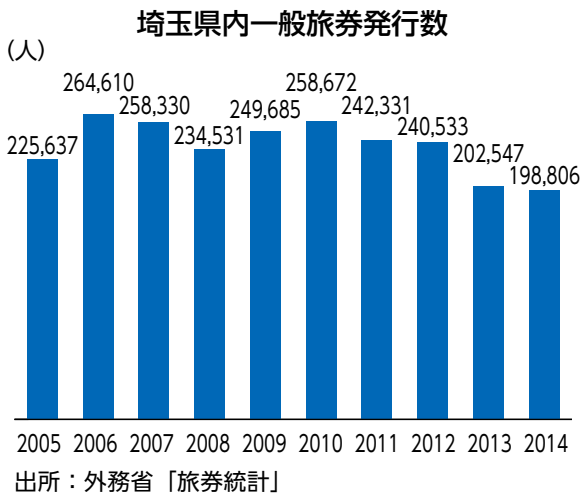


県民の海外旅行事情

～男性は40代、女性は20代が海外旅行好き？～



今月は埼玉県民の海外旅行に関する統計データを概観したいと思います。まず海外旅行では欠かせない旅券（パスポート）の最近の発行数をみると2010年に258,672冊をピークに2011年から減少を続けて2014年には遂に198,806冊と20万冊を割り込んでいます。要因としては2011年の東日本大震災の影響や期間満了する旅券の減少（10年旅券導入、同時多発テロやイラク戦争、またSARS等の影響で2001年以降、数年間旅券発行数が大幅に減少）、中国・韓国との歴史認識の問題や円安の進行による海外渡航者の減少などが考えられます。

次に社会生活基本調査から2011年の海外旅行（1泊2日以上）をした人の割合（行動者率）を見ますと、最も高いのが東京都で13.7%、以下神奈川県、千葉県と続き埼玉県は8.0%で第9位となっています。1年間に埼玉県民の何人が海外へ出国しているのかを見ますと、男女合計で2013年は約102万人で7人に1人が出国しています。

最後に年齢別男女別の2013年の出国者数を見ますと、男性で最も多いのは40代で135,275人、女性で最も多いのは20代で116,664人です。ちなみに10代や20代の若い世代では女性の方が積極的に海外に旅行しています。男性は40代が最も多く、女性を大きく上回っていますが、これは観光旅行に加えてビジネスマンの海外出張が多いことも要因として推察できます。